

学校教育目標 『生き生きした 活力のある子』



学校だより

さいたま市立大牧小学校

平成30年度

10月号

No.418.

平成30年9月28日発行

10月の目標

◎体をきたえよう

・休み時間は外で遊ぼう。

・姿勢を正しくしよう。

「一人一人が全力をつくし思いをつなぐ運動会をつくりあげよう！」

～ 身体と心をきたえよう ～

校長 間宮和宏

ウサギ小屋の横にある柿の木や梨の木が実をたわわに付け、路上に散りだした桜の葉とともに大牧小に秋の訪れを告げています。

さて、明日9月29日は、運動会が行われます。直前の練習まで運動会の歌や応援練習の声、太鼓の音が、校長室まで聞こえ、それぞれがめあてをもって一生懸命に練習に取り組んでいる姿に、心がわくわくして楽しみな気持ちで一杯となります。徒競走では、スタートが近づくとどの子も表情が引き締まり、全力を出し切りゴールした時には、爽快な気持ち、安堵感や思い通りに走れなかった悔しさが巡ることでしょう。表現運動では最後まで頑張ったこと、リレーや団体種目では、チームとしてのよさや失敗して友達に申し訳なかった気持ちを感じるなど、いろいろ貴重な体験を味わうことでしょう。最近では、学校以外では子ども同士で遊ぶ経験の少なさ等により失敗したり競争に負けたりすることが昔に比べて少なくなっているともいわれます。中には思い通りにならなかったことを気持ちがうまくコントロールができずに他人のせいにしてしまう子もいます。

学校生活だけでなく家庭や地域においても自分の力で立ち直る経験をさせていくことが大事と考えます。失敗はつきもの、運動会の練習から本番までの活動の中で自分の気持ちに打ち勝つ強い気持ちや物事を辛抱強く推し進めていく力、友達や周りのよさに気付く力が付いてくるのだと思います。この運動会で得た経験をもとにまた一段とたくましく成長することを願っています。いよいよ本番の運動会を迎えます。子どもたちの活躍する姿、そしてそこまでに至る過程の頑張りも含めて保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご支援、応援をよろしくお願いします。

運動会が終了すると10月となります。1年間の折り返し地点です。運動会前の講話朝会で中国の故事から「自ら勝つものは強し」という話をしました。子どもたちには、「他のものを打ち負かす人は確かに強い人とも言えるかもしれない。でも自分自身の弱い心に打ち勝てる人が本当に強い人。自分の立てた目標に強い気持ちでくじけずに進んでいくことが大切である」。ということを話しました。

自分の立てた目標や目当てに向かって努力し続けることは大人にとっても簡単ではありません。少しぐらいならいいかなどとすぐに楽なほうに流れていってしまうのが人間かもしれません。ましてや、子どもたちを取り巻く環境の変化などからせつかく立てた目標が少しも達成できないこともあります。自分勝手やわがままでいては自分の弱い気持ちには勝てません。自分の気持ちに勝ってよいところを伸ばし、直すべきことをしっかり治すことが大切であることを理解し、いろいろな経験から体得してもらえればと思います。今後も子どもたちのために全力を傾けてまいります。後半期もよろしく願いいたします。

なお、9月24日(月・祝)さいたまスーパーアリーナにて第44回マーチングバンド・バトントワーリング埼玉県大会が開催されました。大牧小学校金管バンドは、練習の成果を発揮して金(推薦)賞に輝き、11月10日(土)に行われる第53回マーチングバンド関東大会への出演が決まりました。今までのご支援・ご協力に感謝いたすとともに引き続きご理解・応援をよろしくお願いします。



※ご多用のところ、9月25日(火)のボランティア清掃にご協力いただきありがとうございました。

おかげさまで、きれいな環境で運動会を行うことができますことに感謝申し上げます。

※市内のどこか一か所でも「震度5弱」以上の地震が観測された場合には、「引き渡し」を実施します。